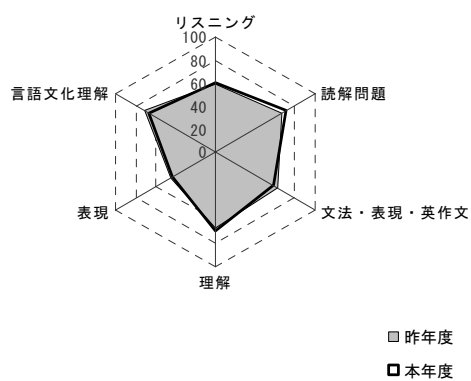


3年 英語

宇都宮市立瑞穂野中学校

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

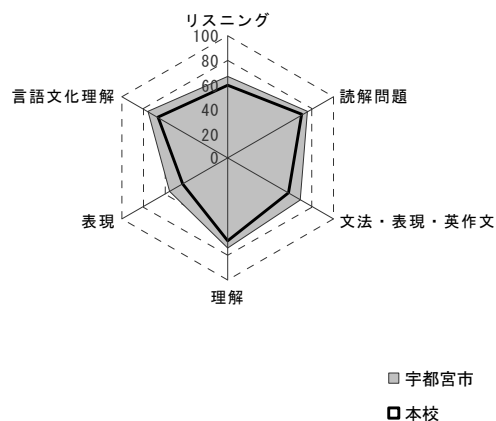


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	リスニング	60.0	58.8
	読解問題	70.6	67.9
	文法・表現・英作文	57.4	62.1
観点別			
	理解	68.1	66.3
	表現	42.9	44.6
	言語文化理解	66.1	71.3

受検人数	本年度	昨年度
	83 人	98 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



■ 平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	66.4	60.0
	読解問題	76.2	70.6
	文法・表現・英作文	68.7	57.4
観点別			
	理解	73.4	68.1
	表現	55.1	42.9
	言語文化理解	76.8	66.1

受検人数	宇都宮市	本校
	3995 人	83 人

昨年度に比べ、領域別でリスニング、読解問題の平均正答率が上がった。また観点別では、理解が上昇している。しかし、市の平均は下回っており、特に語彙力と文法の理解が劣っており、英作文の能力が不十分であるため今後の課題と言える。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	昨年度を上回ったが60パーセント止まりで十分な力とは言えない。対話の内容理解が不十分なため、文法的な知識が生かされていない。また、英問英答が著しく劣っている。	口頭導入による内容理解と英問英答による答え方の基本的知識を徹底させる。リスニングポイントを明示して、長文や対話文の概要把握につなげる。また、英語で身近なことを表現する力を養わせたい。
読解問題	昨年度より対話文の空所選択と内容把握は正答率の数値が上がった。長文及び対話文の概要把握の基礎が培われてきたといえる。しかし、語彙力の不足から重要な情報が読み取れない部分がある。	会話文独特の表現を自然な場面設定の中で理解させる。語彙力を増やし、長文及び対話文での概要把握と英問英等の指導を継続していきたい。また基礎的な文法知識を表現活動の中で実践していきたい。
文法・表現・英作文	表現の知識理解が昨年度を下回った。また、英語で自分自身について正確に表現できない。並べ替え英作文では対応できても、語彙力及び基礎的な文法知識が不十分なため英作文の力が著しく劣っている。	基礎的な文法知識を習得しながら、英語を多用し身近なことを表現する活動を実践していきたい。また既習事項を用いて、知識・理解が相手に伝わるような指導を継続していきたい。